

＜就職氷河期世代の働き方に関する実態と意識＞ -個人調査と企業調査から-

**-今後、就職氷河期世代を採用する可能性がある
企業は85%超**

**-非正規から正規転換した人は「報酬・賃金」の他、「有給・長期
休暇の取りやすさ」や「勤務地・転勤の有無」を重視の傾向あり**

株式会社リクルートジョブズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：酒井久典）の調査研究機関「ジョブズリサーチセンター（<https://jbrc.recruitjobs.co.jp/>）」はこの度、個人と企業を対象とした就職氷河期世代に関する調査を発表しましたので、お知らせいたします。

いわゆる「就職氷河期世代」については、政府が3年間の集中的な支援プログラムを進めるなど、社会的な重要課題となっています。このレポートは、より効果的な就業支援のあり方を検討するための資料として、就職氷河期世代の働き方の実態や希望について、いくつかの個人調査と企業調査の結果をまとめたものです。

一口に就職氷河期世代といっても、現在の働き方や今後の希望は人によって様々で、それぞれが希望する働き方をかなえられることが望ましいと考えられます。ここでは、主に正規就業を希望する非正規・無職の方にフォーカスを当て、そのような方はどれくらいいるのか、その就業の実態や具体的に希望する働き方、また企業の実態や意識を提示します。

本調査のサマリーは以下の通りです。詳細につきましては、調査レポートをご覧ください。

(URL) https://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20200828_1532.html

■ 調査結果サマリー

- **就職氷河期世代のうち、いわゆる不本意非正規労働者は約71万人。**
- **今後、就職氷河期世代を採用する可能性があるという企業は85%以上と多い。**
- **就職氷河期世代は幅広い業職種で採用されている。「医療・理美容・薬・福祉」などで働いていた場合はそのスキルをそのまま生かしている割合が高いが、意欲を買われて新しい分野に移ることも多いと考えられる。**
- **非正規から正規転換した人は、「報酬・賃金」の他、「有給・長期休暇の取りやすさ」や「勤務地・転勤の有無」を重視している傾向がある。個人と企業が互いの重視する点を確認しあう、丁寧なマッチングが必要だと考えられる。**

➤ 就職氷河期世代のうち、いわゆる不本意非正規労働者は約71万人。

	(万人)		
	男女計	男性	女性
35～49歳 総人口	2,589	1,308	1,280
労働力人口	2,285	1,259	1,027
正規の職員・従業員(※1)	1,398	968	428
非正規の職員・従業員	589	95	495
正規の職員・従業員の仕事がないから (不本意非正規労働者)	71	29	42
失業者	53	27	27
(探している仕事の形態) 雇われてする仕事	48	23	24
正規の職員・従業員 (失業者のうち正社員を希望)	27	18	10
非労働力人口	303	49	253
就業希望者	97	13	83
(非求職理由) 適当な仕事がありそうにない(※2)	24	3	21

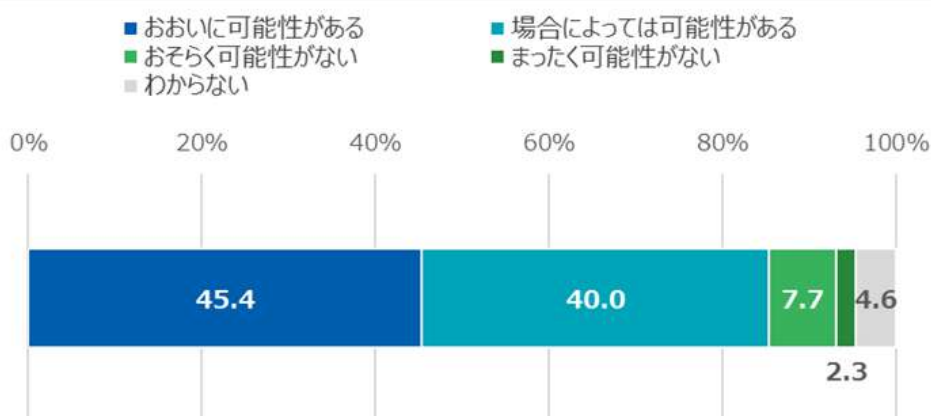
(※1) 正規の職員・従業員数のみ「基本集計」、その他のデータは「詳細集計」を基にしている。

(※2) 理由の内訳は、「近くに仕事がありそうにない」「自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない」「勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない」「今の景気や季節では仕事がありそうにない」「その他」

Source : 総務省「労働力調査 2019年度平均」より作成

➤ 今後の就職氷河期世代の採用意向は、「おおいに可能性がある」と「場合によっては可能性がある」を合計すると85%を超える。

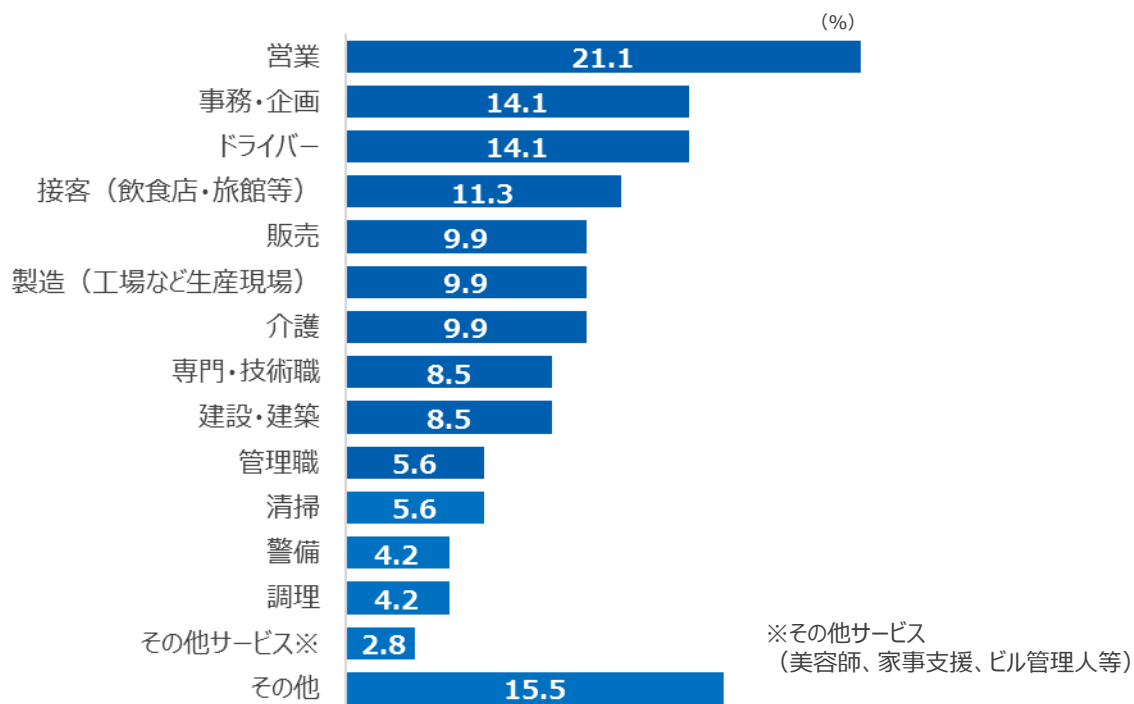
Q. 今後、次の①～③すべてにあてはまる方を採用する可能性はありますか。①30代後半～40代 ②前職が正社員以外または無職 ③正社員として採用 (単一回答、N=130)



Source : 就職氷河期世代に関する企業調査

➤ 就職氷河期世代は幅広い業職種で採用されている。多い順に営業、事務・企画、ドライバー、接客など。

Q. 採用したことがあると回答された方にうかがいます。どのような職種で採用されましたか。（複数回答、N=71）



Source：就職氷河期世代に関する企業調査

➤ 「医療・理美容・薬・福祉」などで働いていた場合はそのスキルをそのまま生かしている割合が高いが、意欲を買われて新しい分野に移ることも多いと考えられる。

入職経験者全体

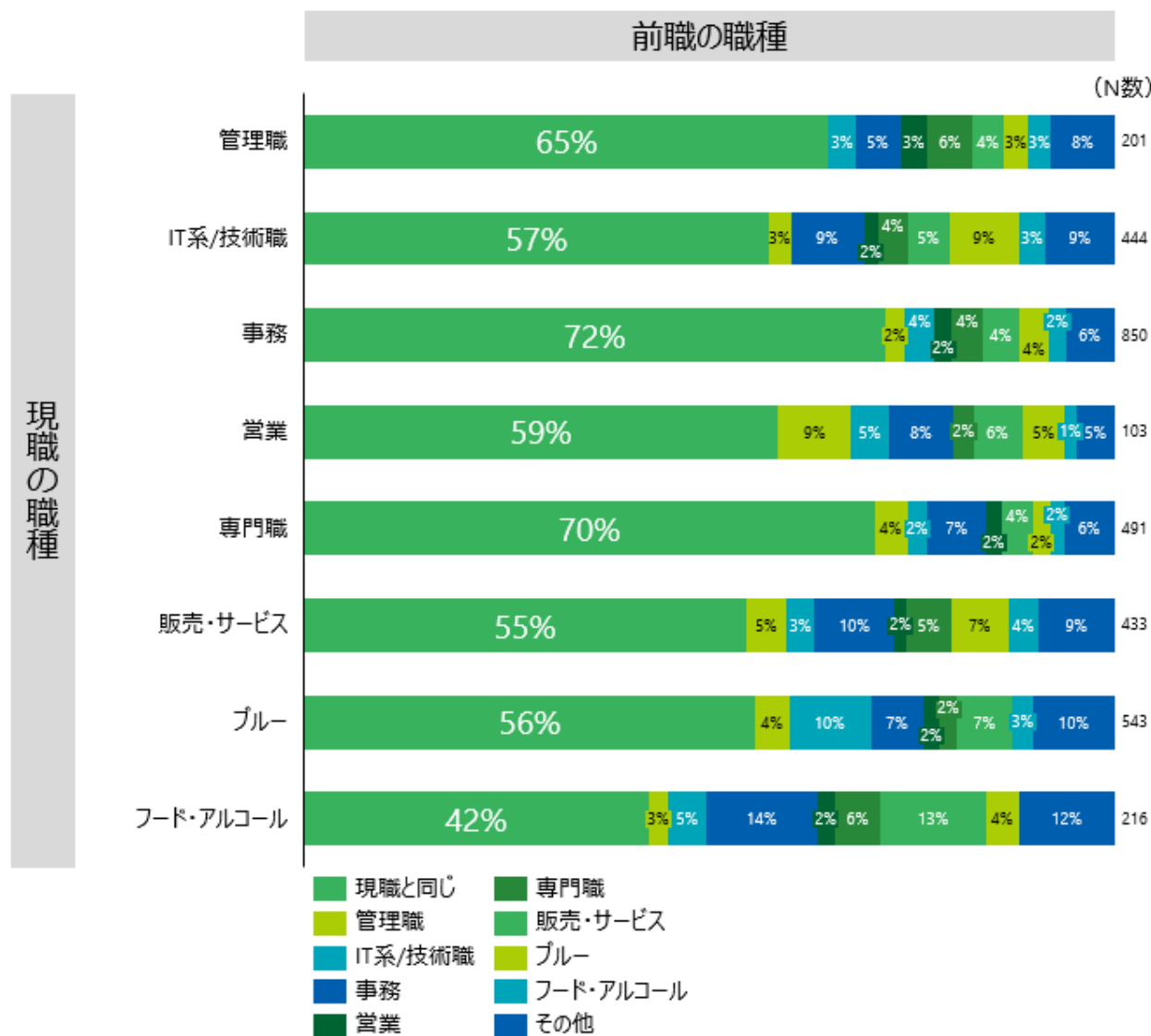
就職氷河期世代（35-49歳）の2019年入職経験者

前職の職種と現職の職種の対応関係

（表頭）前職の職種

（表側）現職の職種

各数値は前職の職種ごとに現職の職種別の比率



※専門職：研究、開発技術職、医療・保健・社会福祉の専門職、法務・経営・金融・保険の専門職、教育職、芸術職等

※販売・サービス：販売員、家庭生活支援サービス職、施設介護員、訪問介護職、美容・衛生関連職、接客・給仕係等

※ブルー：居住施設・ビル管理、施設・イベント警備員、運転手、現場作業職、配達員、清掃員、軽作業員等

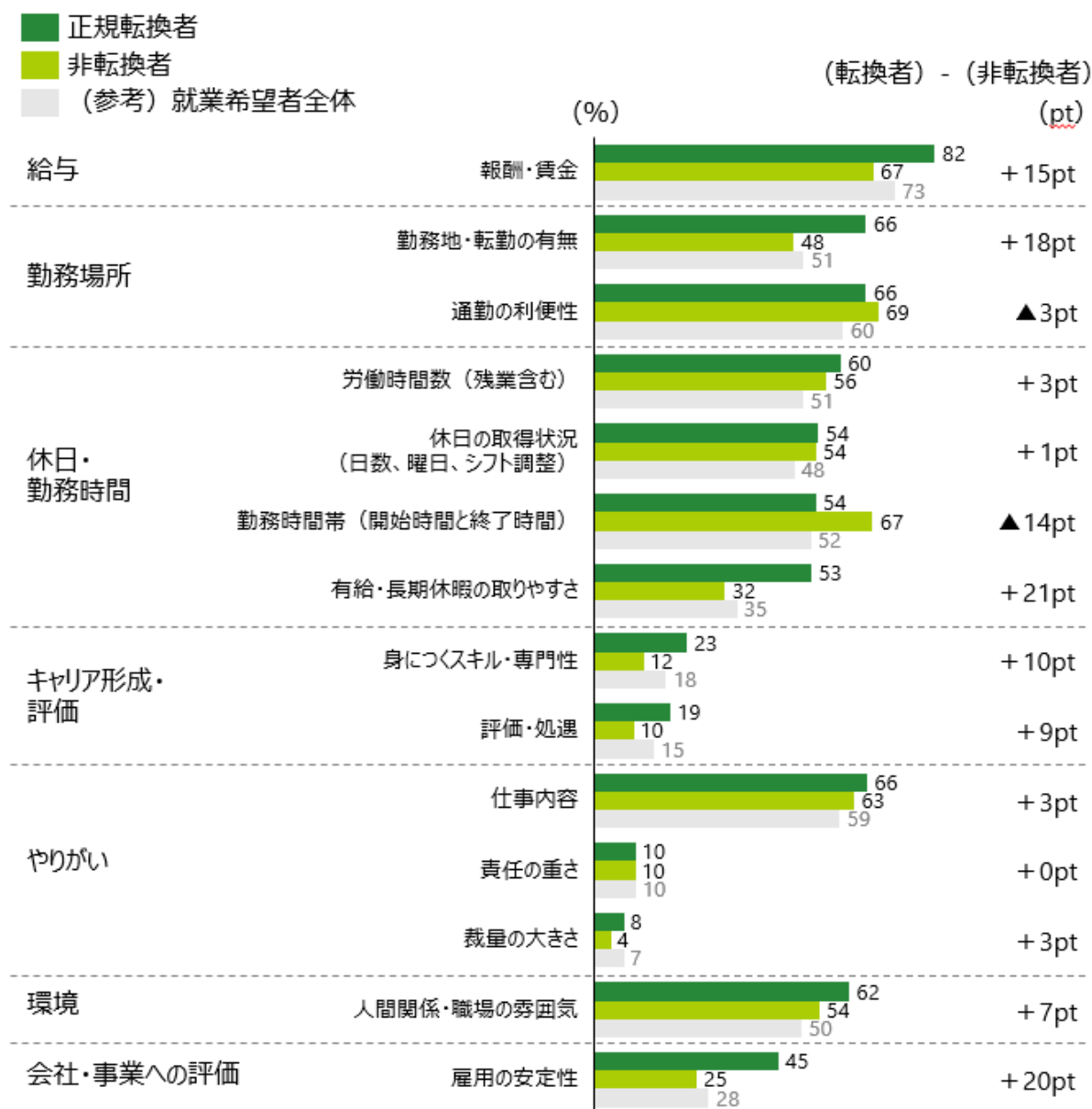
Source：入職者調査 2019年 年間

➤ **非正規から正規転換した人は、「報酬・賃金」の他、「有給・長期休暇の取りやすさ」や「勤務地・転勤の有無」を重視している傾向がある。個人と企業が互いの重視する点を確認しあう、丁寧なマッチングが必要だと考えられる。**

仕事をする上で重視する事柄（MA）

※正規転換者：前職が非正規雇用（アルバイト/パート/派遣社員/契約社員）で現職が正規雇用（正社員）

※非転換者：前職が非正規で現職も非正規



Source : 入職者調査 2019年 年間

■ 報告書URL https://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20200828_1532.html

■ 調査概要

<個人編：入職者調査 2019年 年間>

調査期間	スクリーニング調査 2020年1月9日（木）～1月21日（火） 本調査 2020年1月23日（木）～1月29日（水）
調査方法	インターネット調査
対象者	全国15～69歳の男女、本調査はそのうち2019年1-12月入職経験者
有効回答数	20,976人（本調査）

<個人編：求職者の動向・意識調査 2019>

調査期間	2019年9月12日（木）～9月19日（木）
調査方法	インターネット調査
対象者	全国15～69歳の男女、最近1年間に仕事探し経験あり（新卒以外）、現在および仕事探し当時の職業がアルバイト・パート、契約社員、派遣社員、正社員、専業主婦/主夫、無職・定年退職、学生のいずれか
有効回答数	18,823人

<企業編：就職氷河期世代に関する企業調査>

調査期間	2020年5月11日（月）～6月16日（火）
調査方法	インターネット調査
対象者	採用担当者（弊社採用管理システム利用者および採用担当者向けサイト訪問者）
有効回答数	130

ジョブズリサーチセンターについて

設立 : 2013年4月1日
活動内容 : 労働市場の動向／企業の採用活動・人材マネジメント施策／働く個人の就業意識と行動等に関する調査・研究・発信
Webサイト : <https://jbrc.recruitjobs.co.jp/>

リクルートジョブズについて

社名 : 株式会社リクルートジョブズ
設立 : 1983年9月14日
資本金 : 1億5,000万円
事業内容 : アルバイト、パート、派遣から正社員まで、多種多様な雇用領域における人材採用に関する総合サービス
Webサイト : <https://www.recruitjobs.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社リクルートジョブズ 経営統括室 コーポレートコミュニケーショングループ
TEL: 03-6835-9596 E-mail: press_rjb@r.recruit.co.jp